

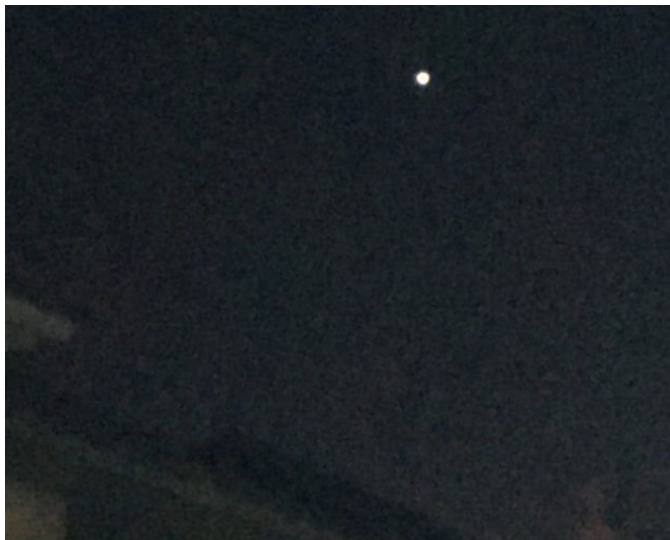
「日々の理科」(第 2283 号) 2020, 10, 12

「火星大接近写真集 (4)」

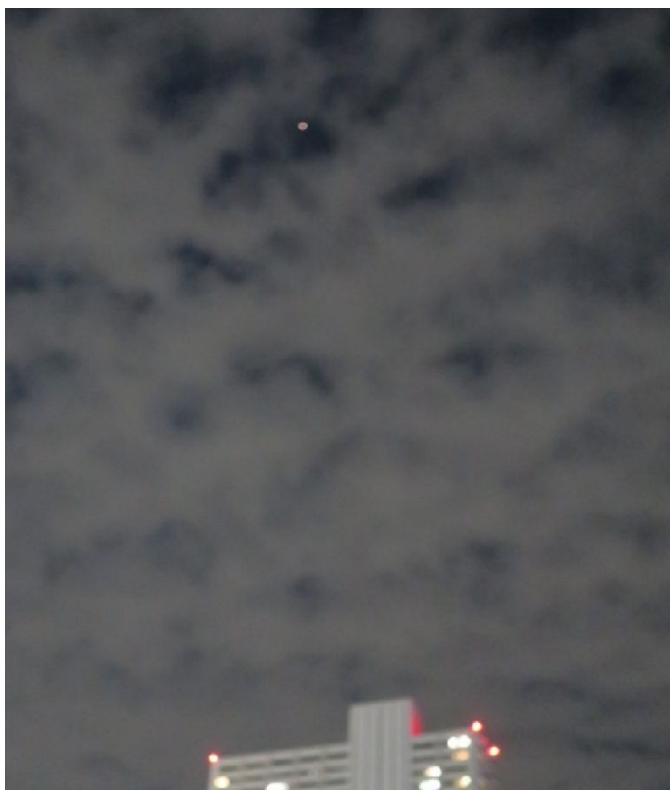
お茶の水女子大学附属小学校教諭

お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員

田中 千尋 Chihiro Tanaka



【兵庫・加東市】これも火星がよく写っている。建物が写っているところも良い。火星の様子を伝えたい、という気持ちが伝わってくる。



【東京・立川】明るいビルに、街明かりに照らされた雲（高積雲）。その雲のわずかな隙間に火星をとらえた、すばらしい写真。都会からも火星はしっかり見えるということがよくわかる。



【スウェーデン・ヨックモック郡】これはスウェーデン北部の北極圏に設置した、デジタル一眼レフカメラで遠隔撮影した一枚。大接近の数日前に撮影したもの。周囲の小さな恒星と比較して、火星の明るさが際立っている。



これも同じ場所からの写真。カメラを設置した駅舎と森の間に、国道と小さな飛行場の滑走路があるので、自動車か小型飛行機の灯りで、森が照らされている。それでも空気が澄んでいるので、星像に影響はない。火星の手前を流星が横切っているのも面白い。